



平成 19 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 18 年 7 月 7 日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン
(URL <http://www.sk-japan.co.jp>)

(コード番号: 7608 東証・大証各第 1 部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 久保 敏志
責任者役職・氏名 取締役管理部長 川上 優

T E L : (06) 6765 - 0670

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計上基準について一部簡便な方法を採用しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結および持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 5 月 31 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 2 月期第 1 四半期	4,045	-	148	-	152	-	79	-
18 年 2 月期第 1 四半期	1,971	23.5	56	80.2	76	73.4	47	72.4
(参考) 18 年 2 月期	12,413		339		405		265	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 2 月期第 1 四半期	9	65	9	61
18 年 2 月期第 1 四半期	5	89	5	80
(参考) 18 年 2 月期	32	04	31	66

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

なお、前年度に決算期を変更したことに伴い、前第 1 四半期と当第 1 四半期が期間対応していないため、当第 1 四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりませんが、前第 1 四半期の業績数値を平成 17 年 3 月から 5 月の 3 ヶ月間で換算した場合の増減率は以下のとおりとなります。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 2 月期第 1 四半期 (18 年 3 月 ~ 5 月)	4,045	95.8	148	60.2	152	25.1
17 年 3 月 ~ 5 月	2,066	-	92	-	122	-

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期の状況は、卸売事業は全般的に順調であり、これに小売事業の業績が新たにプラスされたことにより、売上高は 4,045 百万円、経常利益は 152 百万円となりました。

【事業の種類別セグメントの状況】

〔卸売事業〕

アミューズメント業界向け販売部門では、テレビの人気キャラクター「パン＆ジェームズ」や、「ドラえもん」「 Gizmo 」等の定番キャラクターが好調に推移しました。また、量販店系オペレーターや、多店舗展開している路面店への販売を強化したことが売上高の増加につながりました。これらの要因により売上高は 1,644 百万円となりました。

S P 部門では、雑誌の付録や医療機器メーカー・パチンコホール向けグッズの企画会社等への販促物の O E M が決まりました。これらの要因により売上高は 150 百万円となりました。

物販業界向け販売部門では、新規得意先の開拓とチェーン店への積極的な営業強化に努めてまいりました。商品面では、品揃えの拡充と企画商品の売上増によりキーホルダー類が大きく伸長し、またキャラクターの身の回り雑貨、生活雑貨も好調に推移しましたが、主要商材であるメールブロックが不調であった携帯電話関連グッズが大幅に減少し、売上高は 511 百万円となりました。

以上の結果により、売上高は 2,306 百万円、営業利益は 151 百万円となりました。

〔小売事業〕

小売事業では、前年度から各店舗のリニューアルを行い、明るくオープンな店づくりを推進した結果、お買い上げいただいたお客様の数が各月 16 万人を超える盛況となりました。また、商品構成のきめ細かい見直しを図ることにより、売上総利益率は 21.5% となり、経費削減の課題が残ったものの好調なスタートとなりました。

以上の結果により、売上高は 1,739 百万円、営業利益は 0 百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年2月期第1四半期	5,965	2,937	49.2	355 17
18年2月期第1四半期	4,736	2,694	56.9	332 48
(参考)18年2月期	5,083	2,983	58.7	360 42

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年2月期第1四半期	150	158	104	992
18年2月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)18年2月期	145	577	15	895

(注) 四半期財務・業績の開示を前第3四半期より実施しておりますので前年同四半期の実績は記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より96百万円増加し、992百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、150百万円となりました。

これは主に売上債権の増加および棚卸資産の増加等があったことにより一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が好調であったことおよび仕入債務の増加等があったことを反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、158百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出および投資有価証券の取得による支出等があったことを反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、104百万円となりました。

これは主に短期借入金の返済による支出および配当金の支払額等があったことにより一部相殺されたものの、短期借入金による収入等があったことを反映したものであります。

【参 考】

平成19年2月期の連結業績予想（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	7,182	213	116
通期	15,000	600	333

（参考） 1株当たり予想当期純利益 40円38銭

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、概ね平成18年4月14日発表の予想どおりに推移しており変更はありません。

[業績予想に関する注意事項]

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は業況等の変化などにより、この資料に記載されている予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

〔添付資料〕

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前 四 半 期 末	当 四 半 期 末	前 連 結 会 計 年 度 の
	連 結 会 計 期 間 末 (平成17年6月30日現在)	連 結 会 計 期 間 末 (平成18年5月31日現在)	要 約 連 結 貸 借 対 照 表 (平成18年2月28日現在)
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	1,909,418	992,183	895,210
受取手形及び売掛金	1,044,821	1,455,595	1,062,061
棚卸資産	370,373	1,297,045	1,048,255
前払費用	33,400	74,536	37,303
繰延税金資産	72,256	148,909	137,835
その他	120,876	94,604	75,115
流動資産合計	3,551,148	4,062,874	3,255,781
固定資産			
有形固定資産	538,729	629,609	604,883
無形固定資産	22,521	7,901	6,744
投資有価証券	181,204	262,953	239,377
保証金	1,086	544,374	540,797
保険積立金	289,115	308,821	293,951
繰延税金資産	143,549	141,934	136,667
その他	8,716	7,464	5,714
固定資産合計	1,184,921	1,903,060	1,828,135
資産合計	4,736,070	5,965,934	5,083,917
(負債の部)			
流動負債			
買掛金	1,065,686	1,845,655	1,039,110
短期借入金	544,746	322,000	194,000
未払金	91,761	286,658	398,746
未払費用	37,678	62,020	56,505
未払法人税等	42,664	86,944	167,798
賞与引当金	91,944	114,313	54,153
その他	93,105	205,223	87,298
流動負債合計	1,967,587	2,922,815	1,997,612
固定負債			
退職給付引当金	73,775	80,229	78,002
預り保証金	-	25,220	25,000
固定負債合計	73,775	105,449	103,002
負債合計	2,041,362	3,028,265	2,100,614
(資本の部)			
資本合計	2,694,707	-	2,983,302
負債、資本合計	4,736,070	-	5,083,917
(純資産の部)			
純資産合計	-	2,937,669	-
負債、純資産合計	-	5,965,934	-

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前四半期連結 会計期間 〔自平成17年4月1日 至平成17年6月30日〕	当四半期連結 会計期間 〔自平成18年3月1日 至平成18年5月31日〕	前連結会計年度の 要約連結損益計算書 〔時平成17年4月1日 至平成18年2月28日〕
	金額	金額	金額
売上高	1,971,496	4,045,848	12,413,851
売上原価	1,443,706	3,041,831	9,378,041
売上総利益	527,790	1,004,017	3,035,809
販売費及び 一般管理費	471,488	855,687	2,696,124
営業利益	56,301	148,329	339,684
営業外収益	23,946	8,505	92,076
営業外費用	4,064	4,118	26,121
経常利益	76,183	152,717	405,639
特別利益	271	-	76,330
特別損失	-	-	284
税金等調整前四半期 (当期)純利益	76,454	152,717	481,686
税金費用	28,707	72,936	216,313
四半期(当期)純利益	47,747	79,781	265,372

3. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期連結会計期間(自 平成 18 年 3 月 1 日 至 平成 18 年 5 月 31 日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対 する売上高	2,306,539	1,739,309	4,045,848		4,045,848
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26,279	306	26,586	(26,586)	
計	2,332,819	1,739,615	4,072,434	(26,586)	4,045,848
営業費用	2,181,718	1,738,830	3,920,548	(23,029)	3,897,518
営業利益	151,100	785	151,886	(3,556)	148,329

前連結会計年度(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 2 月 28 日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対 する売上高	7,739,307	4,674,543	12,413,851		12,413,851
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	34,313		34,313	(34,313)	
計	7,773,621	4,674,543	12,448,165	(34,313)	12,413,851
営業費用	7,521,421	4,585,316	12,106,738	(32,571)	12,074,166
営業利益	252,199	89,226	341,426	(1,742)	339,684

(注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。

2. 各事業区分の主な役務

(1)卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設、物販専門店・量販店等への卸販売および電子玩具・電子雑貨等の企画開発

(2)小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック、家電商品等の小売

3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。

4. 前中間連結会計期間より新たに小売事業を開始し、事業内容が単一セグメントでなくなったことによりセグメント情報を記載しております。よって、前四半期連結会計期間(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 6 月 30 日)の種類別セグメント情報は記載していません。

(所在地別セグメント情報)

当四半期連結会計期間(自 平成 18 年 3 月 1 日 至 平成 18 年 5 月 31 日) 前四半期連結会計期間(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 6 月 30 日)および前連結会計年度(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 2 月 28 日)のいずれも、当社は本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

(海外売上高)

当四半期連結会計期間(自 平成 18 年 3 月 1 日 至 平成 18 年 5 月 31 日) 前四半期連結会計期間(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 6 月 30 日)および前連結会計年度(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 2 月 28 日)のいずれも、海外売上高がないため、該当事項はありません。